

## 令和元年度第2回津島市スポーツ推進審議会議事録

日時 令和2年2月18日（火）

午後2時～午後3時

場所 児童科学館1階会議室

出席者 審議会委員 垣見会長、大鹿副会長、久堀委員、黒部委員、木村委員、  
奥村委員、藤原委員

事務局 長谷川事務局長、横井課長、内原統括主任、安井主事

1 あいさつ（垣見会長）

2 議題

(1) 令和元年度スポーツ関連事業報告（案）について

事務局：主な事業について説明。

市民総合体育大会開会式を6月に開催。その中で市民病院救急医療部長の講演「スポーツイベントにおける熱中症対策について」を実施。

夏の大会に向け、熱中症への注意を呼び掛けた。

みんなのラジオ体操を例年より期間を延ばし、8月最初の土曜日まで天王川公園で開催。期間中は2日間雨天中止。1日平均162人が参加。

9月にスポーツ講演会を開催。学校法人至学館の谷岡郁子理事長による講演を行い、「日本のスポーツの未来が危ない！」と題して、現在のスポーツを取り巻く環境を自身の体験を交えて話された。

12月に開催された愛知駅伝に、津島市出身のプロランナー神野大地選手が津島市代表チームの一員として参加。津島市は38市中31位、神野選手は区間賞を獲得した。

令和2年1月に津島市駅伝競争大会を開催。平成30年度に大きくコースを変更したが、今回警察等の協力のもと、事故やトラブルなく開催することができた。

スポーツ教室については7種目実施。定員割れしている種目も多く、よりニーズにあった種目や日時等を検討していく必要がある。

総合型地域スポーツクラブは会員数が280人を超え、毎年安定的に会員登録がある。冬の自然体験教室は現地の雪不足により中止となった。

委員：異議なし

(2) 令和2年度スポーツ関連事業計画（案）について

事務局：主な事業について説明。

今年度並みの日程で計画。

愛知駅伝はまだ開催や場所、日程は不明。

市民総合体育大会は猛暑等を考慮し、2種目が夏季大会から秋季大会へ変更予定。

スポーツ教室については、生涯スポーツの推進に向け、内容をさらに充実させていく。参加者少数の場合に実施を見送る、ニーズにあった種目を検討する、教室参加者にアンケートを実施する等を考えている。

委員：異議なし

### (3) スポーツにおける怪我について

事務局：7月7日 第24回市民ソフトバレーボール大会

女性参加者が右足ふくらはぎの肉離れ。ギプス固定。40日の通院で完治。

委員：異議なし

### (4) その他

#### (津島市公共施設使用料の見直しについて)

事務局：津島市公共施設使用料の見直し方針(案)、有識者会議に提出された資料(方針案に対する意見募集等を踏まえた市の考え方、見直し方針への反映)をもとに現状の報告。

受益者負担の原則、算定方法の明確化、施設の安定的な運営を基本とし、市民からの意見募集や有識者会議等を重ね、方針案に反映させながら策定を進めている。新使用料が現行使用料を大幅に上回る場合、急激な負担増とならないよう1.3倍の範囲内で使用料を定める(当初の1.5倍から変更)。現行使用料を下回る場合には、額を据え置き施設管理経費を確保していくこととする。

新使用料は、受益者負担の適正化を進めるため、概ね5年ごとに改定予定。

委員：施設の使用料が変更されたとき、直営と指定管理ではどのような違いがあるか。

事務局：直営はそのまま市の歳入となるが、指定管理の場合は、使用料収入を見込んで委託料を支払っているため、指定管理者の収入となる。

委員：使用料が下がる施設というのはどこか。

事務局：方針案の算定方法で算出すると、市営庭球場等が下回る。使用料については額を据え置き、施設管理経費を確保していくこととなる。

委員：使用料を上げて利用者が減っては意味がない。その分整備等をしながらぜひ使いやすい施設にしてほしい。

**(東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバルについて)**

事務局：新聞報道等に基づき説明。

県内 49 市町村で採火したものを名古屋で集火し、さらに全国から東京に集火して1つの聖火とするイベント。津島市では8月16日(日)に実施予定。詳細については今後検討。

委員：異議なし

**(東公園のメリケントキンソウについて)**

事務局：東公園多目的広場、特にA、B面に多く見られる。即効性のある手段はなく、毎年駆除が必要。トゲのある実をつける前にスポーツ団体等の協力のもと駆除作業を実施予定。指定管理者は除草剤のテストを実施しており、4月までには刈り払いを実施する。

委員：異議なし